

平成30年度 日本大学スポーツ科学部個人研究費 研究実績報告書

所属: スポーツ科学部 競技スポーツ学科

資格: 教授

氏名: 森長 正樹

研究課題		Boxジャンプトレーニングのパフォーマンスに影響を与える動作の相違について
報告の概要	研究目的 及び 研究概要	<p>研究目的 Boxを用いた跳躍運動について、これまで様々な研究が行われてきたが動作の相違がパフォーマンスに与える影響について検討した研究はあまり見られない。そこで、Boxを使用した跳躍運動において、動作の相違がパフォーマンスに与える影響について検討した。</p> <p>研究概要 当該運動について運動の様式を変更させて行い、そこから得られるデータについて検討を行う。力学的なデータは統計ソフト(SPSS)を用いて統計処理を行い、分析する。選手の自省などの質的なデータについては先行研究などの報告と比較して検討を行う。</p>
	研究成果	Boxを用いた跳躍運動の中で最も研究が行われているドロップジャンプを対象とし、そのドロップジャンプの運動構造の中で最もパフォーマンスに影響を与えるであろう接地局面の運動様式に介入を加え、運動様式を変更させて行った。介入は言語教授により行い、力学的なデータはマットスイッチを用いて算出した。そして、選手の自省から得られたデータと力学的なデータを比較しながら考察した結果、運動遂行前に自身が意図的に生み出した運動過程の図式の差異が運動パフォーマンスに影響を与えたのではないかと考えられる。また、運動過程の図式が類似していたとしても、運動遂行過程で生じる感じや知覚された意識の違いによって運動投企の内容が異なり、それが快・不快感情となって出現し、運動パフォーマンスの低下につながったのではないかと考えられる。
研究業績	・論文および著書 著者名・論文標題・雑誌名・査読の有無・巻・発行年・ページ数	なし
	・学会発表等 発表者名・発表標題・学会名・発表年月日・発表場所	①学会発表:宮内育大・森長正樹・加藤幸真・小山裕三「跳躍運動における接地の意識差がパフォーマンスに及ぼす影響」東京体育学会第10回大会、2019年3月10日、東京大学。
	・その他 *学会・競技団体報告書など 著書名・標題・掲載誌名 発表年月・発行所 *講演会、研究会、研修会、セミナー等での講演発表 発表者・発表年月・題目名・講演会名 *社会貢献活動等	なし